

N1 第 42 课 古典文学爱昆虫的千金 2（课文）

ひめぎみ きょしよく はいじょ 姫君は、虚飾も排除します。「人間たるもの、すべて自然のままがいいのだ」と彼女は主張し、
まゆ げ ぬ まゆずみ まゆ か とう じ じょせい という 当時の女性のような化粧をしない。自然のままの黒々とした
まゆ 眉をしている。お歯黒も面倒だし不潔だからと言ってつけない。現代人からすると、姫君の言う
ことのほうが科学的で納得できます。でも、当時の常識からは外れている。常識は時代によって
こと 異なるのですね。

（山口仲美『日本語の古典』岩波書店による）

大小姐还排除了粉饰。她主张：“作为人类，什么都是自然最好。”当时女性化妆是把眉毛拔了以后用眉粉描眉，大小姐也不这么做。她就是自然状的黑眉毛。她说把牙齿涂黑也觉得麻烦和不干净，所以她不涂。从现代人来看，大小姐说的话更有科学性，能够令人心服口服。不过，这脱离了当时的常识。常识因时代不同而不同啊。